

平成 28 年度 第 1 回神戸市歯科口腔保健推進検討会 議事要旨

日時：平成 28 年 12 月 26 日(月)20 時～21 時 30 分

場所：TKP 三宮ビジネスセンター6 階

(1) 神戸市歯科口腔保健推進条例について

(2) 「こうべ歯と口の健康づくりプラン」の取り組み状況について

(3) 訪問口腔ケア事業について

○地域ケア会議に歯科衛生士が関与していない。なんとかならないか。

→兵庫県歯科衛生士会は、平成 29 年 4 月より県下 10 支部となり神戸支部もできる。その中で区担当者 9 名を任命し、窓口を明確にしていく予定。

○施設には遠方から歯科医師が来て、地元の歯科医師が関与できず、困るケースがある。行政で何か対策できないか。

→高齢福祉部の施設担当や施設の協議会と相談し対応を検討したい。(事務局)

(4) 口腔がん検診について

○20 年前から比べると患者数は 1.5 倍に増加している。口腔がんは視診と触診で診断が可能。中央市民歯科口腔外科には口腔外科専門医・指導医および癌治療認定医がいるので、ぜひ役に立ちたい。

○尼崎市歯科医師会のシンポジウムにて、尼崎と長田区で口腔がんの死亡率が高いという調査結果がでていた。近年、口腔がんは、子宮がんよりも死亡率が高くなっている。口腔がんは初期では症状が出にくく、手遅れになってから病院に受診しているようだ。

○検診には難しい面もあるので、専門性を持っている先生がやるべき。

○歯科医師全体のレベルの向上も兼ねた事業展開をしていきたい。

○行政としては、まず啓発が重要と考えている。(事務局)

(5) 次回以降の検討会テーマについて

○乳幼児健診の時に従事している歯科衛生士のスキルアップ研修をやってほしい。

→歯科衛生士会としても、乳幼児からの口腔機能の指導は必要と考え、妊婦や乳幼児からの口腔機能管理に関する研修会を実施しているので、従事者は受講してほしい。

○歯科衛生士会では人材発掘や復職支援の研修会を開いているが、非会員には情報が届かない。市の広報紙への掲載など、行政も協力してほしい。

○40, 50 歳の検診の受診率が低いのは、検診当日に診察ができないからではないか。他都市では検診とあわせてクリーニング(歯石除去)をして受診率が向上したようだ。